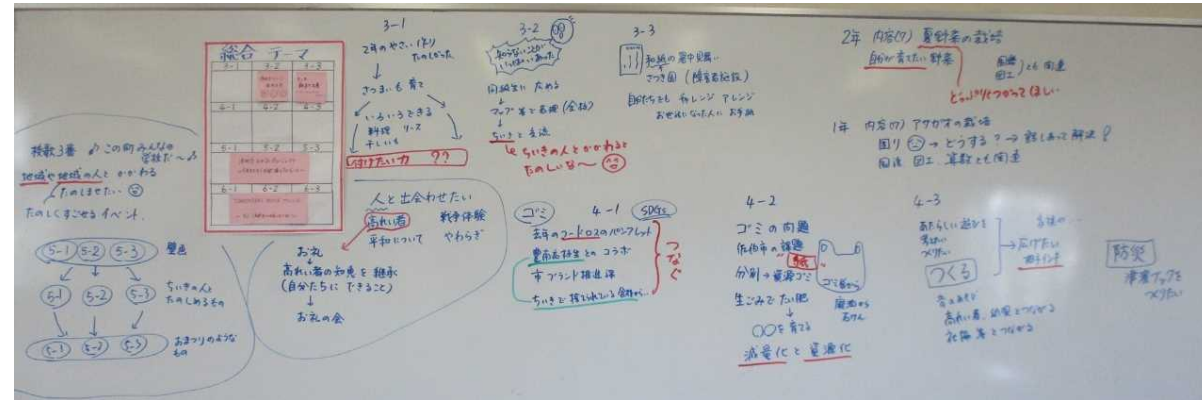


取組概要

渡町台小学校では、生活科・総合的な学習の時間の目標や特質についての研修を進めたり、子どもの学習経験や教師の指導経験、他地域・他校の実践事例等を参考にしたりしながら、今年度の探究課題を設定するとともに、それらを共有して実践の準備（単元計画、評価規準等）を進めようとしている。

工夫・ポイント

- ◆ 児童に対して生活科・総合的な学習の時間のアンケートを行い、子どもの意識を確認。アンケート内に記載された子どもの思いや願いと教師の意図、教材の特性等を踏まえながら、単元計画（単元の目標、単元の評価規準、指導計画）を作成する。
- ◆ 各自の単元構想について、「どのような学習活動が考えられるか」「どのような『ひと・もの・こと』と関わることになりそうか」「期待する子どもの姿」を視点にアイデアを出し合う。



各学年・学級の単元構想を交流・共有
研究主任が要点を板書して整理

- 今年度の単元構想としては
- 各教科等の学習から発展するもの（環境等）
 - 子どもの前学年までの学習経験から発展するもの
 - 地域の教育資源を生かすもの
 - 子どもの実態を踏まえつつ、教師の意図や願いに沿うもの 等



学年ごとに単元構想の詳細を検討

渡町台小学校の研究成果はこちら
（令和4年度の取組）

